



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社リンガーハット
代表者 代表取締役社長 秋本 英樹
(コード：8200、東証第1部、福証)
問合せ先 執行役員管理部兼品質保証チーム担当
小田 昌広
(TEL. 03-5745-8611)

通期連結業績予想の修正及び期末配当予想（増配）に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 13 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 1 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

● 業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 42,500	百万円 3,100	百万円 3,000	百万円 1,400	円 銭 64.42
今回修正予想（B）	43,900	3,200	3,100	1,450	67.89
増 減 額（B－A）	1,400	100	100	50	
増 減 率（％）	3.3	3.2	3.3	3.6	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 2 月期）	41,129	2,834	2,681	1,271	58.53

修正の理由

当社グループは野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安心」に取り組み続け、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質作りに取り組むとともに、企業活動のスリム化及び効率化を進め、企業価値の向上に努めてまいりました。

平成 29 年 2 月期の通期連結業績予想の修正につきましては、第 3 四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを総合的に勘案するとともに、本日（平成 29 年 2 月 13 日）公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、ロードサイド型店舗を中心に店舗の再配置を積極的に進め、収益性の向上を図るため、第 3 四半期連結会計期間以後、翌第 2 四半期連結累計期間までに 23 店舗を退店することを決定し、これにより第 4 四半期連結会計期間において減損損失 389 百万円を計上する予定であります。

よって、平成 29 年 1 月 13 日に公表した連結業績予想を上記の通り修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成29年1月13日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 17.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	10.00	19.00
当 期 実 績	—	9.00	—		
前 期 実 績 (平成28年2月期)	—	9.00	—	8.00	17.00

(注) 平成28年11月21日を払込期日とする公募増資による3,480,000株の新株式発行及び平成28年12月21日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当増資による520,000株の新株式発行により発行済株式総数が4,000,000株増加しております。

平成29年2月期の期末配当予想につきましては、当該新株式発行の影響を考慮した金額を記載しております。

修正の理由

当社は、効率的な経営体制の整備と積極的な店舗展開により、継続的かつ強固な収益基盤を確立することで、安定した利益還元を行うことと、企業の成長を最優先として経営にあたっており、配当額につきましては、連結ベースの配当性向30%を基準にした上で、配当を行うことを基本方針としております。

平成29年2月期の期末配当につきましては、1株当たり8円を配当予想としておりましたが、前記の業績予想の修正に関するお知らせのとおり、通期の業績が増益となる見込みであることを踏まえ、当社グループの経営状況を勘案するとともに、従来からの配当方針に基づき、1株当たり2円増配の10円の配当といたします。

すでに、平成28年11月15日に1株当たり9円の間配当を実施しておりますので、1株当たりの年間配当予想は2円増加の19円となります。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上